



令和5年度 八坂中学校が目指すこと

校長 安井 実

I 目指す学校像

- (1) 学ぶ楽しさ、わかる喜びのある学校
- (2) 一人一人の良さを活かして伸びる学校
- (3) 学校・家庭・地域が共に生徒を育む学校
 - ・ 人権に十分配慮した指導
 - ・ 生徒・保護者の考えを尊重した寄り添う対応
 - ・ チーム学校としての確認作業や配慮事項

＜教育目標＞

- ・ 進んで学び実行する人
- ・ 思いやりの心をもち 健康に努める人
- ・ 勤労を尊び共に生きる人

(知 ・ 徳 ・ 体 ・ 共)

II 生徒の夢・希望が叶えられる学校を目指して

～ 学校生活の中で、『自ら学ぶ姿勢』、『心技体のバランス』、『ルール・マナー』を身に付けさせる ～

- (1) 確かな学力の定着と向上のため、生徒に学ぶ喜びを与える学習指導の推進
タブレット端末やICT機器の活用をさらに進め、学ぶ楽しさ・わかる喜びのある授業の工夫・改善を進めます。主体的・対話的・深い学びの授業実践を引き続き行い、課題解決や自ら学ぶ意欲と能力を育てます。健康に留意させ、体力向上の実践や安心できる学校規律の中で、学ぶ喜びを実感させて、生徒・保護者の期待に応えます。
- (2) 基本的な生活習慣の定着のもと、生徒の個性を育む特別活動や部活動等の推進
どの生徒も八坂中学校の一員として自覚と誇りを感じられるようにします。生徒会活動、学校行事、学級活動、部活動など、諸活動をバランスよく体験させます。基本的な生活習慣を育むため、あいさつ・時間・ルール・マナー・身だしなみ等については、共通した視点での指導を継続します。
- (3) 人権教育を推進し、豊かな心を育む生徒指導、道徳、進路指導の推進
学校・学年・学級等の所属感を持たせ、望ましい人間関係づくりを進めます。生徒の実態や背景を十分把握しながら、心の指導や進みたい進路の実現に向けた指導を展開します。特別支援教室(マイステップ アップ ルーム)との連携を行い、区内4校しかない拠点校としての強みを生かし、スムーズな指導・支援体制を目指し実践します。
- (4) いじめ・体罰・虐待等に対する組織的な対応
「学校いじめ防止基本方針」に基づき、定期的に校内委員会を実施します。年3回の「いじめ調査」で虐待等も含め早期発見・対応に努めます。サービス事故防止研修会を年2回実施して、教職員の人権感覚を高めます。
- (5) 家庭・地域と連携して開かれた学校づくり
授業、行事、部活動など学校の教育活動全体を通して生徒の良さを発揮させ、生徒が一生懸命に取り組む様子を広く地域に公開します。地域が期待する中学生としての情報聴取や諸活動を進めます。生活では、スクールサポーター・PTA・学校評議員・青少年地区委員の皆様などとも連携を密にして、地域ぐるみの健全育成を進めます。
- (6) 環境整備と安全確保
環境が人をつくることを踏まえ、校舎、教室環境の整備に全職員で取り組みます。登校・下校指導、交通安全指導、避難訓練、防災教育などを計画的に進め、自他の安全に注意する心構えと態度を育てます。

III 保護者の皆さまへ

令和5年度、全校生徒210名・7クラスでスタートしました。Withコロナを踏まえ、今まで以上に学校・家庭・地域との連絡を取り合い、持てる情報や方策を共有していきます。生徒・保護者の皆さん・教職員も含めた、安全面や健康管理を最優先に考えた教育活動を展開していきます。

- ① 様々なことに興味・関心を持って実践できる時期が中学生です。学校の教科や学習以外の「一般教養」を幅広く身に付けるチャンスです。ご家庭でも、好きなこと・得意なことを見つけてあげてください。生徒の活躍などは、校内外に係わらずぜひ学校にもお知らせください。職員室前の黒板に掲示したり、朝礼で表彰を行うなどを行っています。
- ② 時間を守ることは社会人としてのルールです。やむを得ない欠席、遅刻に関しては早めに学校にご連絡をください。
- ③ 学校・家庭連携メールについては、練馬区が指定するシステムで情報提供を行います。区の登録の案内に従って、加入のご協力をお願いいたします。また、定期的に学校ホームページもご覧いただけますと幸いです。

裏面は 教職員の転出入・令和5年度の学年学級担当を
紹介しています。